

高齢者歯科学分野 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工医療科学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

全部床義歯臨床の難症例への対策を再考する

講師 **松田謙一** 先生
医療法人社団ハイライフ
大阪梅田歯科医院 院長



日時：**2025年12月19日(金) 17:30-19:00**

場所：**D棟4階 歯学部特別講堂**

近年、高齢者の無歯顎率は低下しているものの、来院する無歯顎患者の平均年齢は上昇し、平均寿命の延伸に伴って高度顎堤吸収などの難症例が増加している。一方で、大学教育における全部床義歯の講義や実習は減少傾向にあり、卒業後に十分な臨床経験を積む前に難症例へ直面する若手歯科医師も少なくない。本講演では、まず高度顎堤吸収症例などの難症例がなぜ難しくなるのかを、物理的要因と術式的要因に分けて整理する。さらに、より機能性の高い義歯治療を実現するための考え方や、各ステップにおける具体的な臨床手技について、症例を交えながら解説する。特に、印象採得・咬合採得・ゴシックアーチ法・人工歯排列・咬合様式などの工夫などの重要性についても取り上げ、難症例における臨床上のポイントを共有したい。

担当：菊田美穂 m.kikuta.gerd@tmd.ac.jp
高齢者歯科学分野 (内線5583)